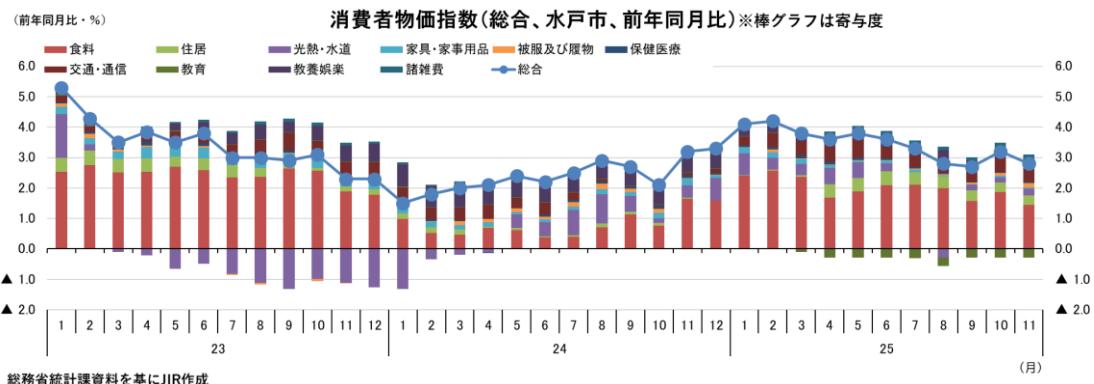


県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している

<今月のポイント>

- 県内経済は、生産活動や住宅投資、公共投資などに弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している。
- 公共投資は、請負金額が減少傾向にあることから判断を引き下げる。もっとも、25年度の企業の設備投資金額は引き続き前年度を上回る見通しにあること、個人消費に関して消費マインドに改善の兆しが見られることから、総合判断は据え置いた。
- 消費者物価指数（総合・水戸市、前年同月比）は、25年春以降伸び率が低下傾向にあったものの、9～11月は概ね横ばいで推移している。先行きの物価は、ガソリンの暫定税率廃止（12月）等の政府の物価高対策により伸び率の鈍化が見込まれる。
- 県内経済の先行きは、政府の経済対策効果等により企業の価格転嫁や賃上げの進展が期待されるものの、日中関係悪化や米国通商政策の影響による下振れリスク、さらに為替・金利などの金融市场の動向には引き続き注意する必要がある。



<基調判断・天気図>

	基調判断				
	前月からの変化	2025年12月調査	25年10月調査	25年11月調査	25年12月調査
総合判断	➡	一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している	☀️☁️	☀️☁️	☀️☁️
生産活動	➡	弱い動きとなっている	☁️☂️	☁️☂️	☁️☂️
設備投資	➡	持ち直している	☀️☁️	☀️☁️	☀️☁️
住宅投資	➡	弱めの動きとなっている	☁️☂️	☁️☂️	☁️☂️
公共投資	➡	弱めの動きとなっている	☀️☁️	☀️☁️	☀️☁️
個人消費	➡	一部に弱さがみられるものの緩やかに回復している	☀️☁️	☀️☁️	☀️☁️
雇用情勢	➡	持ち直している -人手不足感は引き続き高い水準	☀️☁️	☀️☁️	☀️☁️

◆基調判断に添えた矢印は方向感を、天気図は水準を示します。

生産は弱い動きとなっている

10月の鉱工業生産指数（2020年＝100、季節調整値[※]）は103.1、前月比2.6%増と2か月連続で上昇した。業種別の内訳をみると、電気機械（同19.2%増）、化学（同10.2%増）、食料品・たばこ（同5.8%増）などが上昇、金属製品（同5.4%減）、鉄鋼（同9.7%減）、電子部品・デバイス（同6.8%減）などが低下した。

ヒアリング（12月）では、10-12月期の生産受注動向について、「車載コネクター等の市場は大きく変わっていないものの、当社の受注は回復し順調」（金属製品）、「業績は順調に伸びている」（非鉄金属・半導体関連）との声が聞かれた。一方で、「建設機械やダンプ車関係の受注が低水準」（鉄鋼）、「電気代、燃料代の高騰に加え、主原料となる魚の不漁等の影響に左右される」（水産加工業）など受注環境の厳しさを指摘する声も聞かれた。

生産活動は、鉱工業指数に改善の兆しがみられるものの、企業ヒアリングからは受注の伸び悩みなど厳しい状況が続いていることを踏まえ、「弱い動きとなっている」との判断を据え置いた。先行きは、米国通商政策の影響や輸出関連企業の動向に加え、日中関係悪化の影響についても注意が必要とみられる。ヒアリングでは「中国市場の動向について見通しが立たない」（電気機械）との声も聞かれている。

なお、外需に関する貿易面についてみると、10月の茨城県内税関3支署の輸出額は1,619億円、前年同月比25.5%減と15か月連続で前年水準を下回った。鹿島は、化学製品（同19.2%減）や鉄鋼（同7.7%減）が減少する一方、石油製品（同424.3%増）の大幅な増加により、同16.4%増と10か月振りに増加した。一方、日立（日立港・常陸那珂港）は建設用・鉱山用機械（同24.2%増）が増加したものの、自動車（同47.5%減）の減少などにより、同39.5%減であった。

※原数値から季節的要因を調整した数値



出所：経済産業省 *月次ベース、全国の25年10、11月の生産指数は製造工業生産予測指数をもとに算出

設備投資は持ち直している、住宅投資は弱めの動き、公共投資は弱めの動き

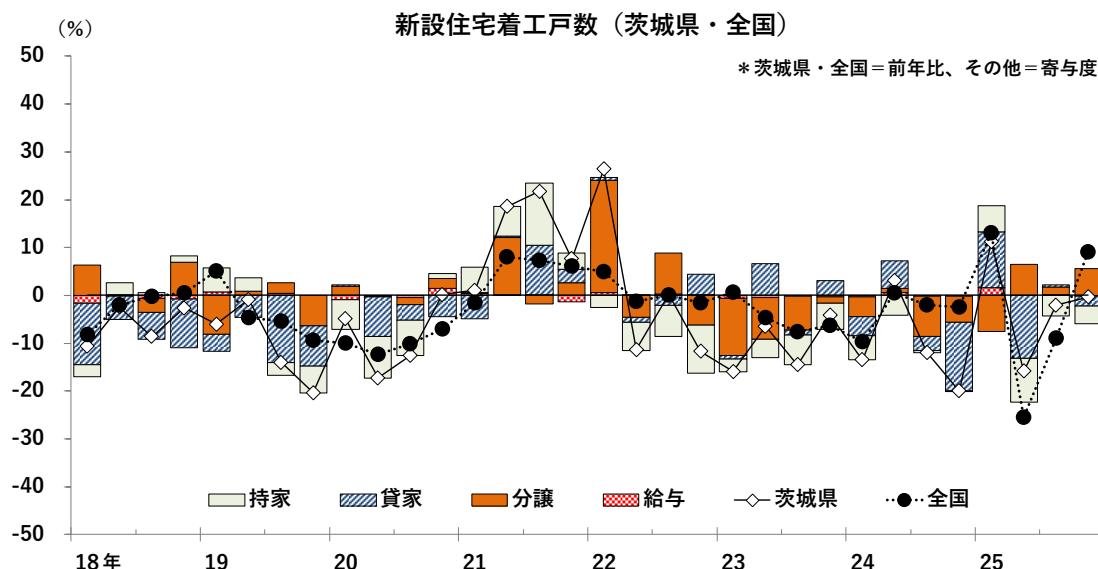
民間設備投資についてみると、10月の建築物着工床面積（民間非居住用）は、工場や倉庫などの減少により50千㎡、前年同月比67.3%減と2か月振りに前年水準を下回った。一方、水戸財務事務所の「法人企業景気予測調査（10-12月期調査、茨城県）」によると、県内企業の25年度の設備投資額※は、全規模・全産業ベースで、前年度比10.8%増（うち製造業が同9.4%減、非製造業が同22.3%増）の見通しとなっている。日銀短観（茨城県、12月）によると、県内企業の25年度の設備投資額※（金額ベース）は、全産業で前年度比16.9%増の見通し（製造業：同20.0%増、非製造業：同5.2%増）。両調査の結果からは、企業の投資意欲は全体として底堅く推移していることから、設備投資は「持ち直している」との判断を据え置いた。

10月の新設住宅着工戸数は1,041戸、前年同月比8.7%減と6か月連続で前年水準を下回った。内訳をみると、持家は545戸、同15.1%減と3か月連続で減少した。貸家は274戸、同12.5%減と3か月振りに減少した。分譲住宅は221戸（うち分譲マンション30戸）、同20.1%増と2か月連続で増加した。住宅着工戸数（総数）は、建築基準法改正前の駆け込み需要の反動が落ち着きつつあるものの、引き続き減少が続いている。以上を踏まえ、住宅投資は「弱めの動きとなっている」との判断を据え置いた。

11月の公共工事請負金額は215億32百万円、前年同月比3.8%減と、5か月連続で前年水準を下回った。内訳をみると、国、独立行政法人等、県が増加したものの、市町村（同30.0%減）が請負件数の減少などにより大幅に減少した。

公共投資は、請負金額が前年の大型工事の反動などから減少傾向が続いていることから「弱めの動きとなっている」と判断を引き下げた。先行きについては、25年度の県などの公共投資関連予算は概ね前年度並みで推移する見通しにあることから、横ばい圏内で推移すると見込まれる。

※1:ソフトウェアを含む（除く土地投資額）、2:ソフトウェア・研究開発を含む（除く土地投資額）



出所：国土交通省 *四半期ベース、25年4Qは10月のみの数値

個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している

11月の乗用車販売台数（乗用車新規登録台数+軽乗用販売台数）は8,017台、前年同月比8.2%減と、2か月連続で前年水準を下回った。内訳は普通乗用車が同15.4%減、小型乗用車が同1.5%増、軽乗用車が同4.2%減であった。

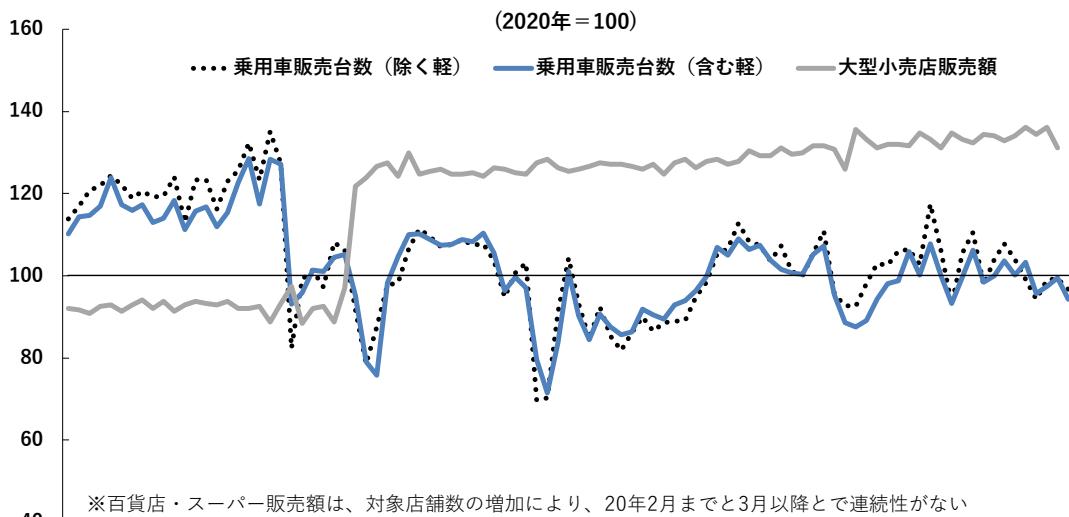
10月の百貨店・スーパー販売額は、全店ベースで前年同月比1.6%増と2か月振りに前年水準を上回った一方、既存店ベースは同0.8%減と2か月連続で前年水準を下回った。専門量販店販売額は、家電量販店が同14.5%増と3か月連続で前年水準を上回った。ホームセンターは同0.2%減と2か月連続で前年水準を下回った。ドラッグストアは4.1%増と54か月連続で、コンビニエンスストアも同0.8%増と18か月連続で前年水準を上回った。

10月の家計消費支出（2人以上の勤労者世帯・水戸市）は、食料費などが増加したものの、自動車等購入費の減少などにより、前年同月比19.3%減と5か月振りに前年水準を下回った。一方、消費マインドに関して、11月の「景気ウォッチャー調査－北関東－」を見ると、家計動向関連は46.4、前月比1.9pt増と2か月連続で上昇した。

ヒアリング（12月）では、「物価上昇により買上点数が伸びない」（小売店）など、消費者の慎重な購買行動を指摘する声が引き続き聞かれた。一方、所得環境の改善や株高などを背景に「目立った変化はないが、宝飾品等の高額品は比較的順調」（小売店）、「中価格帯の商品の動きが昨年よりも良い」（衣服・身の回り品等の卸小売業）などの明るい声も複数聞かれた。

このように個人消費は、消費マインドに改善の兆しが見られること、供給サイドの販売動向が総じてみれば堅調であることを踏まえ、「一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している」との判断を据え置いた。先行きも底堅く推移すると見られるものの、ヒアリングでは日中関係の悪化により「中国インバウンド減少の影響が気がかり」（宿泊業）との声も聞かれている。

乗用車販売台数、百貨店・スーパー販売額



出所：茨城県自動車販売店協会、経済産業省 *X-13-ARIMAによる季節調整値、月次ベース

雇用情勢は持ち直している—人手不足感は引き続き高い水準

10月の雇用関連指標（ハローワークの求人対象）は、有効求人倍率（季節調整値）が1.12倍、前月比0.02pt減と3か月連続で低下した。新規求人倍率は1.85倍、前月比0.15pt減と2か月振りに低下した。就業地ベースでの有効求人倍率は1.31倍であった。

新規求人数は15,693人、前年同月比9.0%減と10か月連続で前年水準を下回った。新規求職者数は7,942人、同0.6%減と3か月連続で前年水準を下回った。新規求人数（パートを除く）の内訳を産業別にみると、生活関連サービス業・娯楽業（同66.2%増）、学術研究、専門・技術サービス業（同24.5%増）が増加し、情報通信業（同46.1%減）、サービス業（他に分類されないもの）（同23.5%減）、運輸業・郵便業（17.0%減）、製造業（同11.0%減）等が減少した。

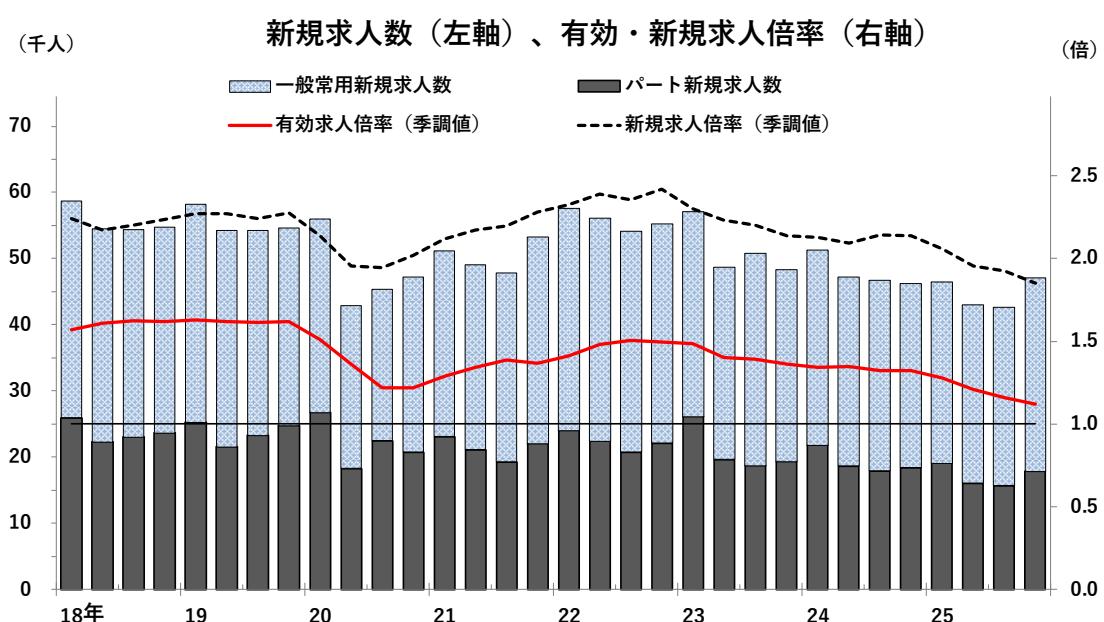
失業者を示す雇用保険受給者数（実人員数）は10,149人、前年同月比15.0%増と、6か月連続で前年水準を上回った^{※1}。

一方、日銀短観（茨城県）によると、25年12月の企業の人手不足感を示す雇用人員判断DI^{※2}（全産業）は▲30と、引き続き大幅な「不足」超となっている。

このように、雇用情勢は、有効求人倍率が弱めの動きにあるものの、人手不足感が引き続き高水準であることを踏まえ、労働者側から見て「持ち直している」との判断を据え置いた。先行きの雇用情勢についても底堅く推移することが期待される。もっとも、県内の広告求人件数は前年割れに転じており、人手不足が続く中でも企業の採用姿勢に変化が生じつつある点には注意する必要がある。

※1：雇用保険受給者数の増加が続く背景には、25年4月の雇用保険法改正の影響（改正により、自己都合離職者の給付制限期間が、離職後2か月間から1か月間に短縮）があるとみられる。

※2：「過剰」－「不足」



出所：厚生労働省 *四半期ベース、25年4Qは10月のみの数値

茨城県経済動向 基調判断の推移

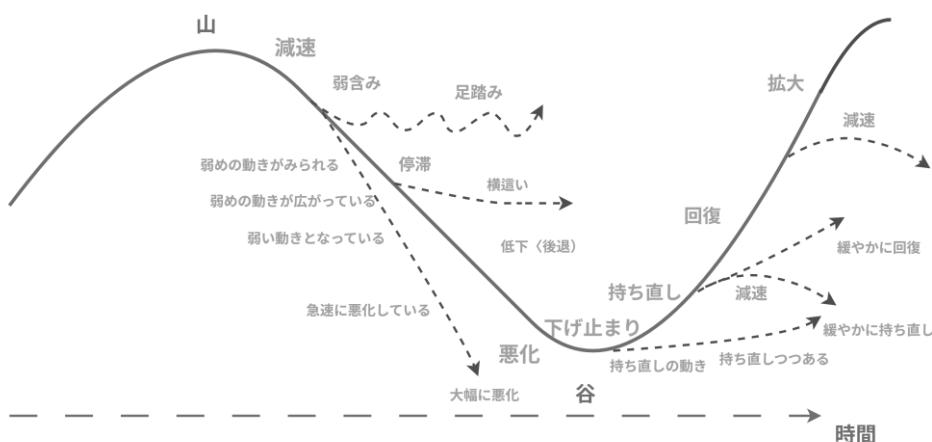
		基調判断
2022	4	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により、持ち直しの動きが一服している
	5	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	6	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	7	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	8	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	9	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある
	10	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある
	11	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	12	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
2023	1	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	2	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	3	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	4	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	5	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	6	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	7	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	8	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	9	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	10	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	11	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	12	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
2024	1	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	2	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	3	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	4	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	5	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	6	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	7	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	8	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	9	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	10	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	11	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	12	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
2025	1	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	2	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	3	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	4	県内経済は、総じてみれば持ち直しているものの、トランプ通商政策により不透明感が強まる
	5	県内経済は、総じてみれば持ち直しているものの、トランプ通商政策により不透明感が強まる
	6	県内経済は、総じてみれば持ち直しているものの、トランプ通商政策による不透明感がみられる
	7	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	8	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	9	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	10	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	11	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	12	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している

各指標の動向判断の推移

	生産	住宅	設備投資
2024 11	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している
	弱めの動きとなっている	弱含みにある	持ち直している
2025 1	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
2	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
3	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
4	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
5	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
6	弱い動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
7	弱い動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
8	弱い動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
9	弱い動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
10	弱い動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
11	弱い動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
12	弱い動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している

	公共投資	個人消費	雇用
2024 11	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
2025 1	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
2	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
3	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
4	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
5	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
6	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
7	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
8	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
9	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
10	持ち直しの動きが一服している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
11	持ち直しの動きが一服している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 人手不足感は引き続き高い水準
12	弱めの動きとなっている	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 人手不足感は引き続き高い水準

基調判断・動向判断の表現方法（イメージ）



「茨城県経済動向」は旧常陽地域研究センター（常陽アーク）が
1969年より継続してまいりました月例調査を、
2019年4月以降、常陽産業研究所が継承・実施しているものです

表紙の通番は常陽アーク時の通番を引き継いでおります

常陽産業研究所

地域研究センター

- ・本資料は、当社が独自に集計・入手しているデータを除き、2025年12月22日現在で公に利用可能な統計指標に基づき作成されています。
- ・公開されている統計指標は、過去に遡及して改訂されることがあります。
- ・統計指標を利用する際は、常に最新の公表資料を参照する必要があります。
- ・本資料は、統計指標とそれに基づく判断が正確であるよう最善を尽くしておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料に示した将来に関する全ての記述は、現時点での判断を示しているに過ぎません。